

みぬま見聞館だより No.66

令和4年12月1日発行

【“ヌウ” & 見聞館キャラクター“クリンちゃん”より】

写真は、クルマバツタの幼虫です。変わった色をしていたので目にとまりました。人の手が入った草原に生息します。

今年はコガモが昨年より1ヶ月早く10月7日に渡ってきました。数年前よりは1ヶ月くらい遅いです。オオバンは10月24日に姿を現しました。この冬も沢山の種類のカモが渡ってきて欲しいです。

今年の夏は異常に暑かったですが、秋が短くあっという間に寒い冬が来そうです。今年の冬の寒さはどうでしょうか。



クルマバツタ
の幼虫

アキアカネ



写真①



写真②



写真③

上の写真は、アキアカネのオス(写真①)とメス(写真②)です。アキアカネは5、6月頃に羽化し、標高の高い所で避暑をし、秋に里に戻ってきます。

近年、数をかなり減らしており、絶滅危惧種になりかかっているそうです。

今年の秋も庭園では沢山のアキアカネが、空を飛び交っていました。絶滅しないように見守りたいです。

オスは写真①のように成熟すると真っ赤になります。

メスは写真②のように少し赤みがかっています。写真③のように丈の高い植物や物、フェンスなどによく止まっています。

オニグルミの木に実がなりました！

庭園の実生から生えたオニグルミの木に実（写真①）がなりました。落ちた実の皮をむくと中からよく目にするクルミの実（写真②）が出てきました。試しに割ってみると中から白い実（写真③）（子葉）が出てきました。オニグルミは葉柄の落ちた後（冬芽）が、ヒツジの顔（写真④）に見えることで有名です。クルミ科の植物です。



写真①



写真②



写真③



写真④

カマキリの捕食とハリガネムシの寄生



写真①ハラビロカマキリ



写真②オオカマキリ

普通カマキリはセミや他の昆虫などを捕食しますが、時には写真のように、仲間のカマキリを食べる時もあります。以前から、メスが産卵前にオスを食べると聞いたことがありますが、（写真①）はそ

のように見えますが、（写真②）は踏まれていたカマキリを草むらに置いたところ、路面に引っ張り出してきて食べていました。このままでは食べているカマキリがひかれる為、しばらくポールを置いて観察したところ、食べたカマキリの中からハリガネムシが出てきました。ひかれたカマキリはハリガネムシ（写真②左上）に寄生されていました。寄生したハリガネムシはカマキリを水に飛び込ませ、体内から脱出して水中で繁殖、産卵するそうです。（弘前大学大学院理工学研究科、神戸大学大学院理学研究科の朝日デジタル記事より）今回は、カマキリがひかれた為、水までたどり着けなかったようです。

植竹小学校で土曜チャレンジスクールを行いました。

10月1日植竹小学校で土曜チャレンジスクールを行いました。当日は、教室を2か所に分け、教室①では生物多様性の話と見沼の生き物紹介を、教室②では実体顕微鏡をもちいたトンボのヤゴの抜け殻やチョウの標本観察及び生体観察を行いました。



①



②



②

幼児政策課の保育者研修が行われました！

10月21日に、幼稚園教諭・保育所保育士、認定こども園保育教諭における様々な課題に対応し、保育の専門性を高めるための実技研修の一つ「幼児の自然に対する興味・関心を育てるための自然体験」が行われました。庭園で生き物に触れたり、ダイオウショウの実を使ったツリー作りを行いました。



幼児政策課の説明



生き物体験



ツリー工作



完成！ツリー点灯



さくひん作品



さくひん作品

保育園で出前講座を行いました

皆さまのところへ職員が伺い、生き物とのふれあい体験など、自然に親しんでもらう出前講座を開講しています。写真は八王子保育園、針ヶ谷保育園、岸町保育園、大成保育園、南浦和保育園、諏訪保育園で出前講座を行った時の写真です。講座の内容は相談に応じます。是非、ご利用ください。



八王子保育園



針ヶ谷保育園



岸町保育園



大成保育園



南浦和保育園



諏訪保育園

第19回みどりの祭典が3年ぶりに開催されました

10月23日、見沼グリーンセンター（市民の森）で開催された『第19回さいたま市みどりの祭典』に参加しました（当日は、とても良い秋晴れとなりました）。当館では、庭園で見られる見沼の生き物のパネル展示を行い、木の实を用いた工作は様々な年齢の方々に楽しんでいただけたようです。



会長挨拶



市長挨拶



まつ松ぼっくり工作



パネル見学

団体見学について



① 広場で生き物探し



② ストラップ作り



③ し尿処理について



④ 環境対策課による生き物調査



⑤ 環境創造政策課による電気自動車の説明



⑥ 工場見学

・10月25日 白菊保育園が遠足で訪れました。(写真①②)

・10月28日 芝川小学校2年生が生活科の「町の施設」の学習で訪れました。(写真③④⑤⑥)

当日は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底した上で白菊保育園は2班、芝川小学校は8班に分かれ対応いたしました。

なお、見学の内容は相談に応じます。是非ご利用ください。



お知らせ

・令和5年1月20日(金曜日) 大人のための野鳥観察会の開催を予定しています。

なお、状況に応じて中止や縮小などの場合もありますので、くわしくは市のホームページでご確認ください。

みぬま見聞館・自然庭園の見学について

みぬま見聞館・自然庭園を10名以上で見学または職員の案内を希望される場合は事前にご連絡ください。個人での来館もお待ちしています。

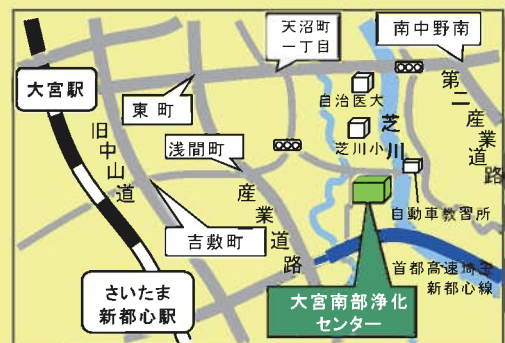
開館時間 9:00~17:00 入館料 無料

休館日 年末年始・毎月第4土曜日

住所 さいたま市見沼区大字上山口新田508番地1

電話番号 048-646-6030 F A X 048-646-6033

※詳しくは、「みぬま見聞館」のホームページをご覧ください。



発行 さいたま市環境局施設部大宮南部浄化センター(みぬま見聞館)

この印刷物は環境に配慮したインクで印刷しています 印刷部数6,400部 単価10.4円

